

## 平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立手城小学校		
学校長氏名	宮本 加代子	栄養教諭氏名	青井 由美子
職員数	45名	児童・生徒数	628名

**1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）**

- ・食事のマナーについて、継続的な指導が必要である。
- ・食器破損について、課題がある。
- ・自分の健康に関心を持ち、食を大切に、給食を残さず食べることができるようにする。残菜は、減ってきたが、継続した取組が必要である。

**2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）**

- ・食事のマナーを身につけていく児童にする。
- ・自分の健康に関心を持ち、食べることに関心を持っている児童を90%以上にする。
- ・保護者の「学校の様子がよくわかる」という質問項目に対する肯定的評価を90%以上にする。

**3 食育の目標に対する具体的な取組****【取組1】（テーマ） 食事のマナーを身につけていく児童にする。**

- ・ランチルームにて、給食時間を活用して指導する。
- ・食器破損報告書を児童と担任に記入してもらい、食べる時の姿勢や片付けの仕方など、原因と改善策を考え指導につなげる。
- ・昨年度よりもほとんどの月で残菜が減少傾向にあった。教職員全体で、つぎ切るように配膳したことや、一人一人が落ち着いて食べるようになった結果だと考える。

**【取組2】（テーマ） 自分の健康に関心を持ち、食べることに関心をもつ児童にする。**

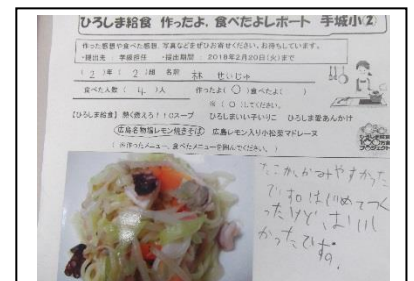
- ・担任と栄養教諭の合同授業を行い、食についての関心を高める取組を行うことができた。
- ・養護教諭と栄養教諭の合同のミニ保健を実施して自分の体をより健康にすることに関心を持たせることができた。
- ・出前授業「地産地消」「牛乳の秘密を知ろう」など実施した。
- ・地域の農家と連携し、地域の食材「とうもろこし」の皮むきを実施して、学校給食に使用した。
- ・地域の食材「ビンゴソース」を、学校給食に使用して、テレビ取材を受け放送された。

**【取組3】（テーマ） 保護者、地域へ、わかりやすい食育だよりの発行・HPを更新する。**

- ・児童が日々、実施している食育について「食育だより」に掲載した。
- ・ひろしま給食100万食プロジェクトの『手城小1000食プロジェクト』実施した。
- ・「ひろしま給食 作ったよ、食べたよレポート 手城小」を実施し、保護者からのレポートを食育だよりに掲載し、校内に掲示した。（2月までレポートが届いた。）

#### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・「ひろしま給食100万食プロジェクト」レシピ・キャッチコピー募集・応募。
- ・応募作品数点、食育だよりにて紹介。
- ・夏休み「子ども料理教室」にて、受賞レシピを調理。(14名参加)
- ・『手城小1000食プロジェクト』にて、ひろしま給食 作ったよ、食べたよレポート手城小募集。
- ・ひろしま給食 作ったよ、食べたよレポート、食育だよりにて紹介。(14件)
- ・給食委員会「ひろしま給食」ポスター作成、1000食プロジェクト表彰状作成。
- ・「ひろしまおやつ」メニュー、食育だよりにて紹介。
- ・ひろしま給食手城小1000食プロジェクト報告。(1465食 11月末まで)
- ・「ひろしま給食100万食プロジェクト」福山レシピ賞4名受賞。
- ・福山レシピ賞受賞と内容を、食育だより、校内掲示にて紹介。
- ・福山レシピ集、福山市内の全小中学校に配布予定。



#### 5 取組に対する成果と課題

##### 【成果】

- ・校内における食育の取組により、全教職員が食育に対する意識が高まってきた。
- ・「ひろしま給食100万食プロジェクト」レシピや「ひろしま給食 作ったよ、食べたよレポート」において、家庭の協力が強く、食の関心につながっていると感じた。
- ・食器破損については、担任もふりかえりをし、反省することで、子どものみの問題でなく、教師の取り組みにも問題があることがわかり、少しでも改善がみられた。

##### 【課題】

- ・食器破損については、引き続き取り組む。
- ・担任との合同授業について、直前に決まることもあるので、もう少し連携を深め、計画的に実施していく必要がある。

#### 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・児童だけでなく、保護者や地域を巻き込み、公民館や地元のスーパー等との連携を深め、食育をすすめていく。